

〈秋のイベント〉

山川長林寺アカデミー講演会



◇11月20日(日)午後2時～

「二つの長林寺」の謎を探る

〈講師〉齊藤里奈さん 足利市立美術館主査 / 荒川善夫さん 栃木県立文書館管理員

足利市内にはなぜ「長林寺」が二つあるの？山川と西宮の長林寺の関係は？こうした質問を受けても、これまでは資料も乏しく、ただ答えに窮するばかりでした。しかし近年、山川長林寺で長尾景長（足利長尾氏三代）の位牌が発見されるなどの出来事があり、解明の手掛かりが得られつつあります。先般、市立美術館で開かれた足利長尾氏の特別展に景長の位牌が出展されたことから、にわかに関心も高まっているようです。そこで、特別展の『図録』に「小論『足利にあるふたつの長林寺』」を書かれた齊藤里奈氏と、戦国期東国の歴史研究で知られる荒川善夫氏を講師としてお招きし、中世から近世への動乱期にどのような背景で二つの長林寺が生まれたのかを語っていただきます。当日は景長の位牌なども会場に展示します。

◇11月23日(水)午後2時～

「観音さま」入門 ～観音霊場設置記念～

〈講師〉大澤慶子さん 文星芸術大学教授 / 斎藤 明さん 国際仏教学大学院大学教授

観音信仰は今も広く行われており、御朱印集めをかねての霊場巡りも盛んです。このほど、足利仏教会で〈足利三十三観音霊場巡り〉のコースが新規に設定され、山川長林寺は第十七番札所に指定されました。最初の霊場設置は宝永年間（1700年代初頭）で、このとき地域領主の六角家より十一面千手観音像（坐像）が寄進されています。その後、昭和12年（1937）に〈足利昭和坂東霊場〉が設置され、今回がつごう三度目となります。観音像の修理を手がけられた(有)羅漢工房の浦野潔氏が昨年2月に急逝されて、いまだその悲しみは癒えませんが、この講演会は卓越した技術と理論をもって文化財の保存修理に尽瘁された浦野氏のご功績を顕彰することを目的の一つとするものです。講師には仏像研究で著名な大澤慶子氏と、緻密で斬新な文献研究で仏教学界をリードする斎藤明氏をお招きします。

※23日午前10時から午後1時まで観音堂の扉を開けます。希望者には御朱印を提供します。

※講演会はいずれも入場無料。感染症対策にご協力願います。暖かくしてお出かけください。

主催 福聚山長林寺 ☎0284(41)7488 / 山川長林寺アカデミー
会場 足利市山川町 1142 山川長林寺本堂